

寺報

No.601

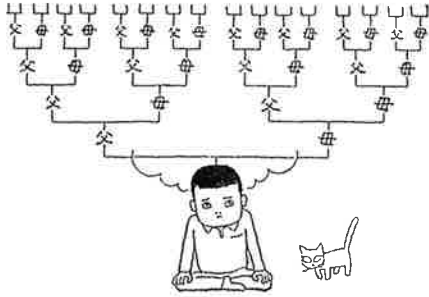
平成29年9月

蓮華寺
發行

御聖訓

佛法の中に法華経ばかりこそ正
直の御経にておわしませ。

『法門可被申様之事』



(解 説)

仏教で『秋彼岸』とは、秋分の日を中日とした一週間の修行期間の事をいいます。

『彼岸』は本来、悩みや苦しみの多い【此の岸】を離れ、悟りを得た救いの世界であります【彼の岸】に到るという意味です。

日蓮大聖人は、お釈迦様の御教えの中で、法華経だけが我々を迷いの岸から悟りの岸へと運ぶ真実の教えであるとし、

「この七日のうちに一善の行いを修せば、悟りを開き仏となり、また彼岸一日に小善を行えば大いなる悟りの道に到る事が出来る。」

とお説きになりました。

つまり、『彼岸』は遙か彼方にある理想の浄土の事をいうのではなく、法華経の教えを深く信じ、それに素直に従い善根を積む、現在の我々の心の中にあると教えられたのです。

どうか、皆様も彼岸中にはお寺へお参りし、一心に法華経・お題目を唱えるように修行をしましょう。

『秋彼岸会』のお知らせ

九月二十日(水)・二十三日(土)・二十六日(火)

場所：小本堂

*法要

午前八時より午前九時まで

*法話

約十分間

	お経・・・・訓読法話
二十日	序品第一・方便品第二・欲令衆
二十三日	提婆達多品第十二
二十六日	如来神力品第二十一
	加藤曉宏上人 住職 上人 埴上 人

②『秋彼岸会』の法要は三日間ですが、ご先祖と仏様のご供養は、残り四日間『朝のお勤め』の中で読み上げさせて戴きますので、ご安心下さい。

檀信徒研修会

秋彼岸会法要次第

- 一、道場偈 (僧侶が唱えます)
 - 一、勧請 (導師が唱えます)
 - 一、開経偈 (無上甚深)
 - 一、お経 (日程表をご覧下さい・日本語読み)
 - 一、運想 (唱え奉る妙法は)
 - 一、お題目 (南無妙法蓮華經)
 - 一、宝塔偈 (此経難持)
 - 一、回向 (導師が唱えます)
 - 一、お題目 (南無妙法蓮華經・僧侶は供養の読上)
 - 一、お経 (如来寿量品第十六・漢字読み)
 - 一、お題目 (南無妙法蓮華經)
 - 一、付回向 (導師が唱えます)
 - 一、四誓 (衆生無辺誓願)
 - 一、お題目三唱
- 法話・・・約十分間

③お経は要品の訓読 (日本語読み) ですので、お経本はお寺でお求め下さい。

以上

お寺からのお知らせ

*先祖供養 (一週間)・・・八百円

お彼岸の先祖供養は、お彼岸前に申し込みますと、一週間、またその後に申し込んだものでも、「彼岸明け」まで供養を続けさせて戴きます。どうか、ご供養は出来るだけ、お彼岸前日迄にお申し込み下さい。

*追膳 (一週間)・・・三千五百円

お彼岸の追膳は『位牌堂』、三階『永代供養堂』、お預かりしていますお骨の前に一週間上がります。なお、「彼岸入り」以降のお申し込みも受け付けますが、準備の都合上、期間中、一日だけという(特定の日)の受付はしておりませんので、ご了承下さい。また、追膳は数に限りがありますので、お早目にお申し込み下さい。

最高の教え法華經

檀信徒研修会のお知らせ

九月三十日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

☆『聖典の読誦 (三十分) と唱題行 (三十五分)』

*お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂 (④イス席になります。)

持参品：聖典 (お経本・事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目を唱え、頑張つて参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

『提灯』の募集!

当山で「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」に下げます『提灯』(トロー)を限定で一個募集致します。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

さい じょう いな り たい さい 最上稲荷大祭

九月二十二日 (金)

午後一時より

於：蓮華寺稲荷堂

『稲荷』という言葉は元々稲の神であり、農業の神という意味です。それが転じて商売繁盛・開運の神様となりました。



- * 御祈願 . . . 八百円
- * 御法楽 . . . 八百円
- * 御神体御法楽 . 千円

◎「御祈願・御法楽」をお申し込みの方に『お札』を差し上げます。
◎御神酒・お供物も受付けます。

最上稲荷様

当山では、一般的に『最上稲荷様』といいますが、日蓮宗では、正式に『最上位・経王・大菩薩』と呼んでいます。

経王とは、お釈迦様の説かれたお経の中の王、つまり【妙法蓮華経】の事です。

即ち、法華経の御本仏様のお力をお借りして、我々を救済してくれる、一番位の高い菩薩様という意味なのです。

「最上位」とは位・等級の事ですが、よく神社で見られる「正一位」という位がありますが、最上というのはそれよりも遥かに高く、これよりも上がない、即ち最高位という事です。

ですから、当然「蓮華寺」にお祀りされている『最上稲荷様』も、同様に素晴らしいお力を顕すご守護神なのです。

檀信徒の皆様も、どうか稲荷様イコール狐きつねなどという俗信に惑わされずに、正しい知識の元にご信仰してくださいようにお願い致します。

当日は、稲荷堂の前にテントを設けますので、どうぞご参拝下さいますようお願い致します。

『朝のお勤め』のススメ

当山では、毎朝午前六時半より『朝勤会』を執り行っています。

時間は、大本堂く小本堂く位牌道を回りますして、約一時間となっております。

聖典【お経本】を最初から順序よく読んでいきますので、どうぞ一緒に読み下さい。

初めは難しいですが、繰り返す事で段々慣れてくると思いますので、一生懸命頑張ってみましょう。

また、朝勤会に毎月の『祈願・供養』を申し込まれている方には、特に朝参りをお勧め致します。

唯、お寺にお願いするのだけではなく、少しでも時間を見つけて、自らが参拝する事が大事なのです。

そしてご自宅では中々出せない大きな声で、「法華経」「懺悔文」「お題目」を唱え、祈願・供養などの願い事が早く成就するようにと、集中してご祈念して下さい。

足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

◎朝の『祈願・供養』・一件、一ヶ月三千元です。

九月の行事

- 一 日(金) 『盛運祈願会』 午後一時より
- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 檀信徒の皆様は必ず【霊神符】をお持ち下さい。



- 四 日(月) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中
- 十三日(水) 『日蓮大聖人ご命日』 午後一時より
- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
- ・ 皆様も日蓮大聖人さまの御報恩を忘れずに参拝し一緒にお経・お題目を唱えましょう。

『秋彼岸会』(三日間)

- 二十日(水)・二十三日(土)・二十六日(火)
- 【法 要】午前八時より
- ②『秋彼岸会』は2ページの日程表をご覧ください。

二十二日(金) 『最上稲荷大祭』 午後一時より

三十日(土) 檀信徒研修会『唱題行』午後七時より
②どなた様もご自由に参加して下さい。

☆奉仕のお知らせ

『秋彼岸会の追膳』

二十日(水)〜二十六日(火)迄の一週間
 ②『お彼岸の追膳』のお手伝いは一週間、朝【午前六時〜七時半頃迄】、夕【午後三時〜五時頃迄】ですので、お手伝い出来ます方は時間までにご集合下さい。
 お寺のお手伝いご希望の方は、どなた様でも歓迎致しますので、どうぞお気軽にお出下さい。
 二十二日(金) 『最上稲荷大祭』のお手伝い

教宣部男性 午前十時半より
 教宣部女性 昼十二時より

*テント・のぼりの設営・供物・祈願の受付等のお手伝い、並びに後片付けをお願い致します。

②各部員はご奉仕の他に、『秋彼岸会』の午前八時から、『最上稲荷大祭』の午後一時からの法要に積極的にご参拝して下さい。
 ◎奉仕部長・山田兼補 ◎伝道部長・小野正春
 ◎教宣部長・杉淵昌三

『永代供養塔』のご供養

境内に安置しています『永代供養塔』『水子観音像』『動物供養塔』の〈秋彼岸供養〉は、九月二十三日(土)の中日、午前十時三十分より、住職上人がご回向しますので、ご一緒に参拝出来る方は、時間までにお越し下さい。
 時間は三十分程です。

霊断

ご自分や家族の中で、色々な困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。
 日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて解決、ご指導しますのでご安心下さい。
 なお宗旨・宗派は問いません。 ☎776-5840
 【ご相談料は一件につき三千元です】

『位牌壇』募集中!

- ★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。
- ★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。
- ★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。
- ★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合は、お寺にご連絡下さい。
- ★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。
 その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。
 会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

あき ひ がん え 秋 彼 岸 会

二十日(水)・二十三日(土)
二十六日(火)の三日間

於：小本堂

法 要・・・午前八時～九時まで

- * 『法要』は彼岸の入り・中日・明けの三日間ですので、
檀信徒の皆様もご注意の上、ご参拝下さい。
残り四日間のご供養は「朝のお勤め」で拝みます。



追 善 供 養 (一週間)

先祖代々・各靈位・・・・・・・・800円

追 膳 (一週間)

位牌堂・永代供養堂・・・・・・・・3,500円

* 法要に参列し、お経・お題目を唱えましょう！